

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

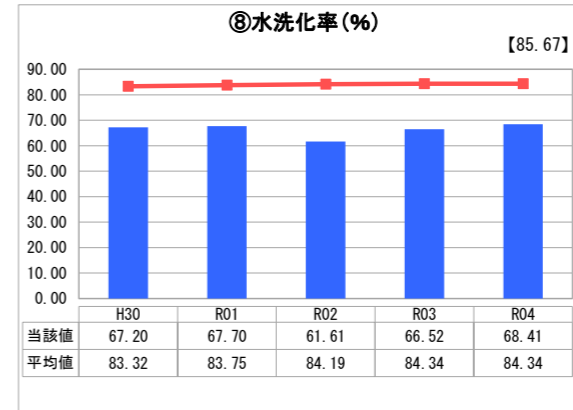
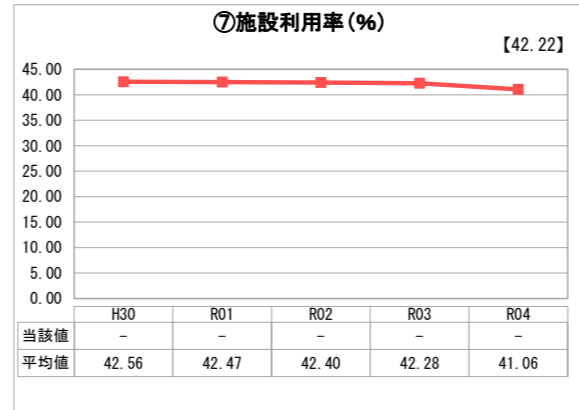
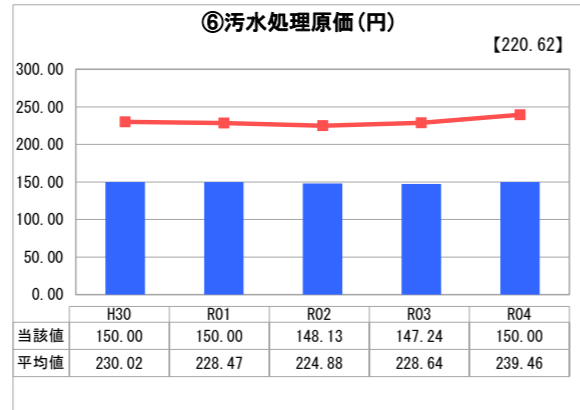
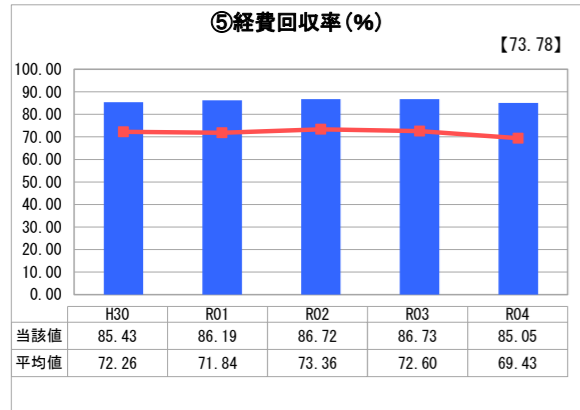
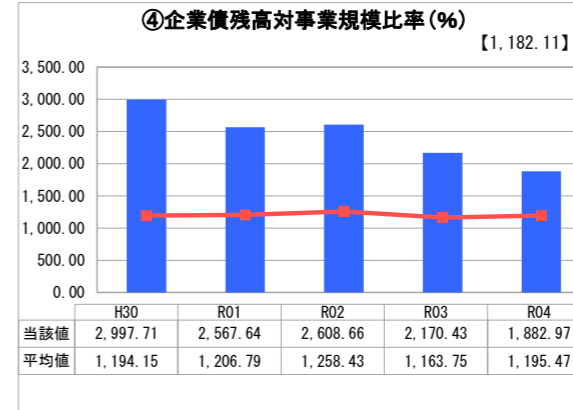
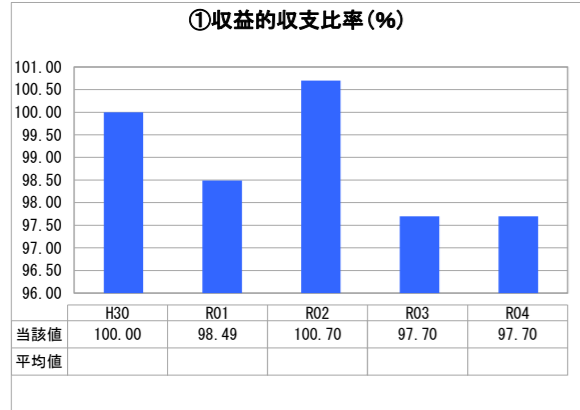
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.88	101.84	2,145

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,117	38.64	468.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,681	1.16	2,311.21

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
令和4年度は令和3年度と同率であった。総収益は4,123千円増加したが、総費用が1,160千円、地方債償還金が3,057千円増加し、前年度と同率となった。

④企業債残高対事業規模比率  
令和4年度は前年度と比し、287.46%減少した。全体的にも減少傾向にある。これは、地方債現在高が減少傾向にあるためである。

⑤経費回収率  
比率は例年どおり85~87%以内に留まり、ほとんど変化がない。令和4年度の使用料収入及び汚水処理費はそれぞれ226,837千円（前年度比161千円増）、31,556千円（前年度比800千円増）であり前年度と大きな変化はない。

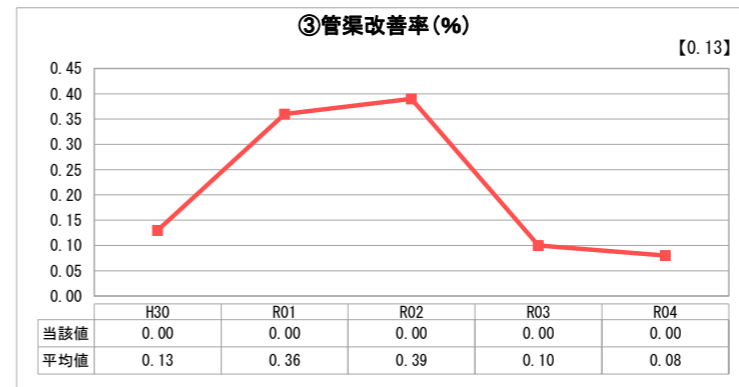
⑥汚水処理原価  
150円ほどでほぼ横ばいで推移している。令和4年度は汚水維持管理費が20,134千円で前年度比2,808千円増、汚水資本費が11,422千円で2,008千円減となり、前者の増加分の大部分が後者の減少分で相殺されており、原価は約3円の微増に留まった。

⑧水洗化率  
令和4年度は前年度比1.89%増である。接続が進んでおり、令和2年度の新区域供用開始前の水準に戻った。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られないが、20から30年後には管渠の老朽化が生じてくると思われる。これに備えて今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努める。

## 2. 老朽化の状況



### 全体総括

収益的収支、経費回収率及び汚水処理原価は昨年度と大きな変化はない。新規借入額を償還額が上回っているため、企業債残高対事業規模比率は昨年度と比べ減少した。経営状況の悪化は見られないが、今後も接続促進や経費節減を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。